

主な内容

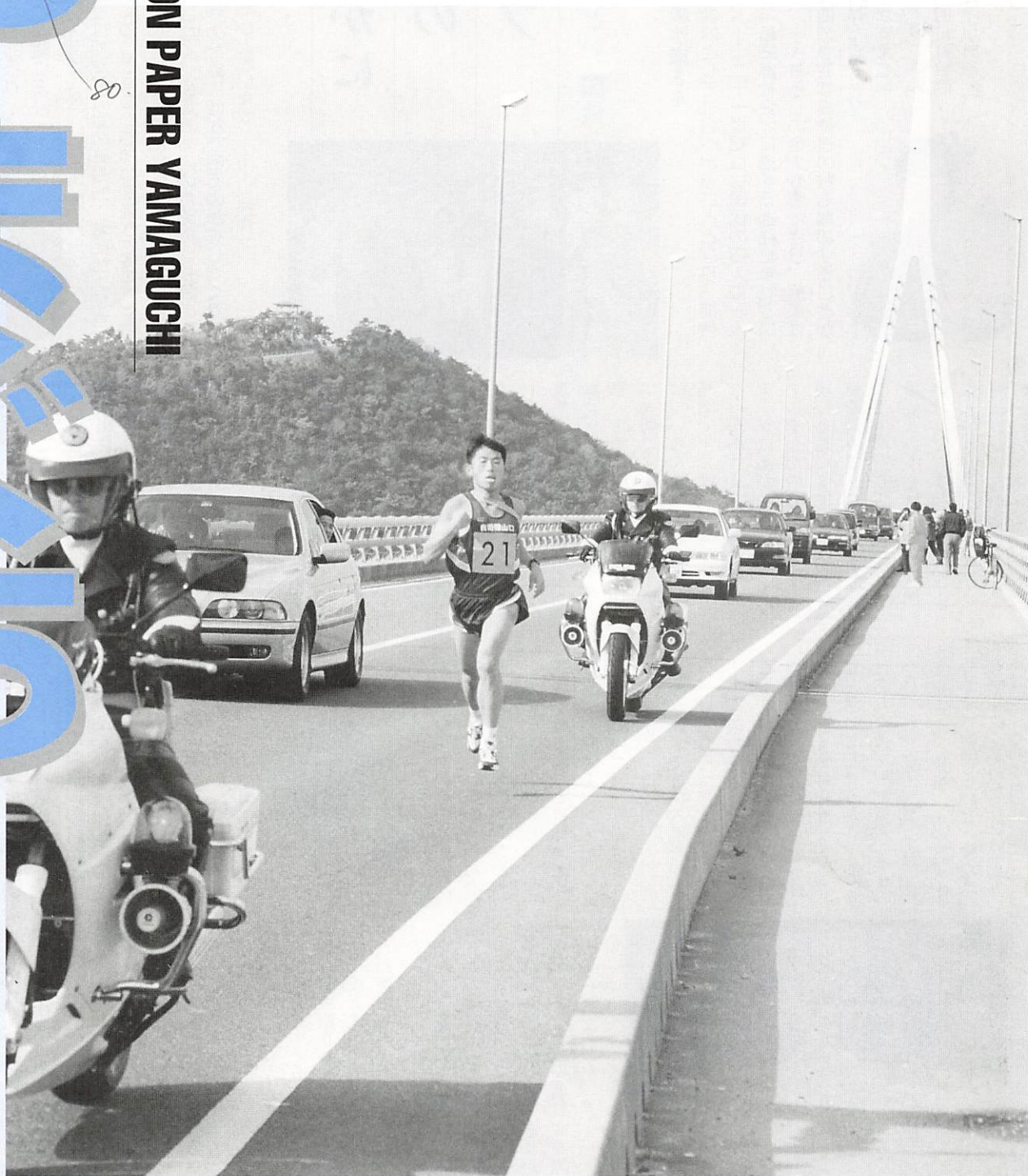
本号は14頁です

- 新成人のつどい
- 山口市リサイクルプラザオープン
- 市民アンケート調査結果概要

●市民憲章 昭和46年9月1日制定

- 1 自然を大切に、美しい環境を守りましょう。
- 1 スポーツに親しみ、健康なからだをつくりましょう。
- 1 互いに助け合い、生活を豊かにしましょう。
- 1 きまりを尊び、良い風習を育てましょう。
- 1 郷土を知り、文化財の愛護につとめましょう。

●発行/山口市役所 〒753 山口市亀山町2-1 ☎0839-22-4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/山口印刷工業株式会社



南部6地区を走る

第48回山口市駅伝競走大会が、1月19日、99チームの参加で行われました。今年16地区が勢ぞろいした地区の部では宮野が、一般1部は自衛隊山口A、一般2部・農業試験場A、女子の部・西京高校がそれぞれ優勝しました。

1区間増えた新コースは、佐山・嘉川・陶地区が加わり南部6地区を走る31.8km。おだやかな好天に恵まれ、周防大橋では山口湾の風をうけて走る選手を多くの人が応援しました。

2/1

1997年 No.1189

■市報やまぐちは再生紙を使用しています。



市の木イチョウ



市の花キク



市の花木キンモクセイ

二十歳の誓い 瀬良 倫さん
 — 神戸に住んでみて、神戸の人々は先年の大震災から立ち直るために懸命の努力をされておられますが、その中に入っって一緒に生活を「人間の営みの苦労」の一端に触れ、人の善意とは何か、社会の在り方、政治の大切さ、幸せとは何か、など多くのことについていい勉強ができました。成人式を迎えて社会人として認められたからには、ただ、自分の幸せを求めるだけではなく、少しでも人のために、社会のために、国のために、世界のために何ができるのかをじっくりと考えて、行動していきたいと思えます。 — (抜粋)



二十歳の誓い 長廣沙織さん
 — 私も四月からは看護婦として社会へ出ることとなり、期待と不安でいっぱいです。 — 二十一世紀には国民の四人に一人が六十五歳以上となる「超高齢社会」に達すると見込まれています。これにともない、一人暮らしの老人や寝たきり、痴呆性老人など、社会的に援助の必要な高齢者の数も増加することが予想されます。 — このような社会をこれからは私たちが支えていかなければならないのです。また、社会の一員として積極的に社会問題に取り組み必要と責任があると思えます。 — (抜粋)

この新成人のつどいをごどのように感じられましたか？
 長廣さん 会場は騒がしいと聞いていたのですが、来賓の方がしゃべられるのが聞こえないということではなかったですね。でも、正式な場だから、もう少ししじめを持って参加する方がいいと思いました。
 — 会場は静かでしたね。瀬良さんはいかがですか。
 瀬良さん すごくよかったと思います。成人式だから礼儀は大切ですが、二十歳になれば、いろんな考え方があって当然です。表現だっているながあります。例えば、ステージにあがってパフォーマンスをしたのも、ひとつの表現だと思えます。僕は堅い文章を読みました。人それぞれに二十歳の表現があるんです。
 長廣さん 個性があるのはいいけれど、まじめに聞いている人はどう思うでしょうか。
 瀬良さん 人が話していると

晴れやかに 大人への ステップ

新成人のつどい 開催



華やかな振りそでや、りりしいスーツ姿などの千三百人を迎え、一月十五日「新成人のつどい」を市民会館で催しました。三十分間の式典の後、今年は、ゆつくりと話のできる場を設置。テーブルとイスを中庭などに並べ、千人分のケーキとジュース・コーヒールを用意しました。また、表千家青年部のボランティアによる抹茶のサービスも好評でした。ところでここ数年、成人式でのマナーが話題となるのが少なくありません。山口市の式典は、市長のあいさつや市議会議長のお祝いの言葉などを静かに聴いた、成人としての門出にふさわしいものでした。もともと、タバコを投げ捨てる人、ホールに入らない人、ステージに上がりパフォーマンスを行う人、と大人の常識では捕らえきれない言動も一部見受けられました。世代間の考え方の違いは、いつの時代もあるもの。お互いの理解に努めることが、縦のつながりを結ぶための第一歩です。次に、式典で二十歳の意見を発表された瀬良さんと長廣さんへの、インタビューをお伝えします。

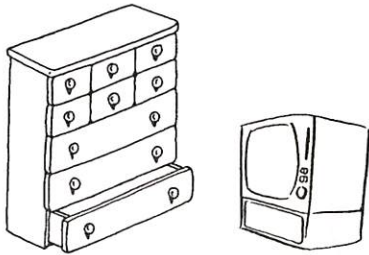


あのパフォーマンスたちが進んで拍手をしてくれたから、花束も受け取りやすかったんです。成人式って、二十歳になった僕たちの式じゃないですか。僕たちがホールの雰囲気を作ってもいいと思うんです。式典の後には、いつもしているような会話ができたことが、うれしかったですね。それからケーキやお茶があり、友達も喜んでいました。



新成人に聞きました 抱負をおしえてください
 落ちついた大人になりたい♡今やらなければならぬことで一杯♡就職を頑張りたい♡看護婦になる夢をかなえたい♡就職を決めたい♡お金持ちになりたい♡マレーサーになりたい♡店を出したい♡家を建てたい♡仕事を頑張る♡現場監督になって一人前になる

新成人のつどいに対する 意見がありますか
 気軽に参加したい♡明るく楽しい式にしてほしい♡成人式らしいことをしてほしい。ビールを出すとか♡酒をただで飲ませてほしい♡今回のような式がいい♡話が短い式がいい♡飲み会を開いた方が面白い♡友だちと騒ぎたい♡チャラチャラではなく、明るく楽しい雰囲気がいい♡みんな態度が悪い。タバコのポイ捨てが多い♡今回の形でよい。催し物はいらぬ♡もっとおいしい物が多かったらいい。酒を出せ。ケーキが出たのはよかった。座るところをもっと作ってほしい♡お茶会はよい。座れて話ができる♡イベントがあればいい♡ゆつくり話せるお茶会はいい♡お茶会などたいへんいい♡簡潔でよかった♡ケーキを出すのはいい。集まってしゃべれるから♡今回のような式がいい♡こんなの(ケーキ)がいい



山口市リサイクルプラザ

— エコパークやまぐち

オープン

1月20日竣工式、25・26日にはオープンフェスタを終え、いよいよ2月1日からリサイクルプラザの運用が始まります。今月からは、空き缶・空きびんの分別収集もスタート。市民の皆さん、リサイクルにご協力ください。

不用品リサイクル事業紹介

不用品で提供いただくもの

リサイクルプラザに連絡 ☎27-7122

引き取り可能なもののみシルバー会員が回収に出向きます（1mをこえる大型商品のみ）

無料で引き取ります

衣類、図書、玩具他小型のものは直接プラザへ持ち込んでください

ドリームギャラリー

3月1日から開始

リサイクルプラザに提供された家具、家電製品等を再生して希望者に抽選により低料金でお渡しします。

リサイクルプラザに一定期間展示しております。

希望する品物を抽選申し込み用紙に記入のうえ受付に提出

展示期間終了後（展示期間1～22日）

毎月23日抽選日（10：00） 23日が休日の場合は24日

当選 → リサイクルプラザから連絡

リサイクルプラザで現金と引き換え

家具・家電製品 1,000～5,000円 自転車 1台5,000円
その他 100～1,000円

27日 1歳6か月児健康診査（保健センター）28日▽ハウンド・ドッグコンサート（市民会館大ホール）

26日 市民無料法律相談（白石公民館）

23日 第20回山口市市民インディアアカ大会（県体育館）

22日 第2回中原中也賞選考会（松田屋ホテル）▽子ども映画会（児童文化センター）

16日 親子で野鳥を見る会（矢原河川敷）

18日 シルバー人材センター入会説明会（山口しあわせプラザ）

15日 市民文化祭（市民会館）16日▽山口市同和教育推進大会（山城南総合センター）▽絵画教室3、4年生（児童文化センター）

13日 山口市企業・職場同和教育連絡協議会研修会（大殿公民館）▽ベルリン・パッパ管弦楽団十セルゲイ・ナカリヤコフ演奏会（市民会館大ホール）

8日 観光ボランティアアガイド講座開講式（山口ふるさと伝承総合センター）▽青少年育成者フォーラム（山城南総合センター）

1日 絵画教室3、4年生（児童文化センター）

2月

の

こよみ

山口市リサイクルプラザ竣工式



ご家庭などで不用になった次のような物をご提供ください。

- 家具⇒小修繕、清掃等で使用可能なもの
- 家電製品⇒清掃等で使用可能なもの
- 衣類⇒洗たく済みでそのまま使用可能なもの
- 図書⇒月刊誌、週刊誌を除くもので落丁、破損等のないもの
- 楽器・スポーツ用品、玩具（清掃等で使用可能なもの）
- 置物、その他日用雑貨品（清掃して使用可能なもの）
- 自転車

いらんかね情報コーナー（不用品コーナー）

ご家庭でいらなくなったもの（ただし使用できるもの）を登録していただき、パソコンなどで市民の皆さんにその不用品情報を提供する「情報コーナー」を設置します。そこで不用品の登録情報を募集します。

○対象品目 家具、家電製品、衣類、図書（月刊誌、週刊誌を除く）、自転車、楽器、スポーツ用品、玩具など
いずれも、有償で譲りたいものに限りです。

○登録方法 品名、サイズ、色など参考となる情報、購入時期、使用期間、希望価格、購入価格、氏名、住所、連絡方法などを山口市リサイクルプラザ（☎27-7122）までご連絡ください。

橋は川や海、池などと水辺の風景をつくり、古くから美術作品に描かれ、多くの文学や演劇などの舞台にもなりました。

橋はへだてられた土地をつなぐだけでなく、違う世界を結びつける出会いの場でもあります。

「水の郷」山口の数多くの橋から主なものを紹介します。

橋。あなたは橋にどんなイメージを持っていますか。日頃なげなく通り過ぎる身近な橋にたえずむとぎ、その橋のドラマが見えてくるかも知れません。あなたの物語がはじまるかも知れません。

大内氏の時代

袖解橋（中央公園の近く）

大内氏の時代、全国各地から山口に来る旅人は、ここで旅装を解き、身づくろいして山口の町に入りました。そこから袖解橋というようになりました。

旅人の橋の名におう袖ときて水に姿をうつしてやみしー田辺玄齡（明治の歌人）ー鰐石橋

現在の石橋は昭和初年に架けられたもので、欄干に四基の洋式ランプの台や、この時一緒に造られた道路の石畳も残っています。

川の中の「重岩」は古くからの名勝で、大内氏時代に山口に来た中国明の趙秩は山口十境の詩の一つに「鰐石生雲」として詠じました。

現在は、新鰐石橋、アーチ型歩道橋プリンスロードと新旧のミックスした景観をつくっています。

新虹橋（一の坂川ダム手前）もとの虹橋はダムの建設で水没しましたが、やはり、趙秩の山口十境の詩に「虹橋跨水」として詠まれています。

五十鈴橋・伊勢橋 山口大神宮は大内義興が永正十七（一五二〇）年に伊勢神宮から神霊を勧請して創建した古社で、「西のお伊勢様」として多くの参拝者がありました。

伊勢神宮の前を流れる五十鈴川にちなんで大神宮前の川も五十鈴川と名付けたのが橋の名前の由来です。

一の坂川の伊勢橋も、お伊勢さまに参る橋として名付けられました。昭和三十八年の

道路拡張前は鳥居もありました。五十鈴橋とともに欄干の擬宝珠が歴史を語っています。

茶屋面橋（小鯖・下鯖山） 禅昌寺がかつて「西の高野山」といわれた頃をしのばせる名前です。大内氏二十五代義弘は周防に布教に来た慶屋定紹の法徳を慕い鯖山の地に大寺を建て慶屋を招いて開山しました。禅昌寺の外廓には茶店や旅館も並び「茶屋面」「門前」などの地名として今日に残っています。

毛利氏から幕末まで 御茶屋橋（一の坂川・中河原）

江戸時代、毛利氏の公館であった山口御茶屋の位置を今に伝える橋です。御茶屋は藩主の参勤の折りや、一族の旅行、要人の宿所として建てら

れたものです。 道場門前と西門前の間に架かる橋です。名前の由来となった「安部家」は、江戸時代には富豪をもって知られ、山口大年寄格として町政をつかさどりました。また、本陣として藩主一族などの宿所に利用されました。

長沢池（鑄銭司） 長沢池は十七世紀中頃、時の小郡代官東条九郎右衛門が造った人工池で、満水面積三七haの県下でも二番目に大きい湖沼です。池の上に弁天社がまつられ、参道に架かる石橋が水面に映えます。

長浜の欄干橋 秋穂二島の長浜で塩田が構築されたとき（文化十一〜一八一四）年、塩田と長浜を結ぶ橋として架けられた石橋で

安部橋 安部橋

安部橋

安部橋

恋の路の橋 宮野地区の恋路の名は「越道」が由来ともいわれていますが、大内の殿様がここに狩りに来て、美しい女性に出会い恋に落ちたという話も伝わっています。樵野川、山口線を跨ぐ国道二六二号線の陸橋恋路大橋。恋の思いを渡す橋かも知れません。

恋の路の橋

恋の路の橋

恋の路の橋

恋の路の橋

恋の路の橋

恋の路の橋

恋の路の橋

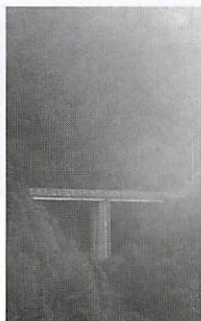
恋の路の橋

恋の路の橋

橋ものがたり



袖解橋



新虹橋



重岩



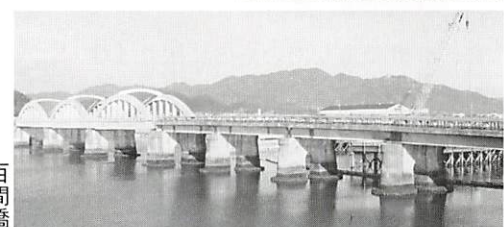
五十鈴橋



鰐石橋



安部橋



百間橋

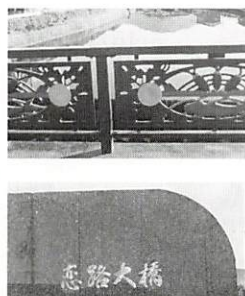
欄干が楽器

吉敷川の清涼橋の欄干には鉄琴と「ほたるこい」の楽譜がついています。上流には虫見橋があります。



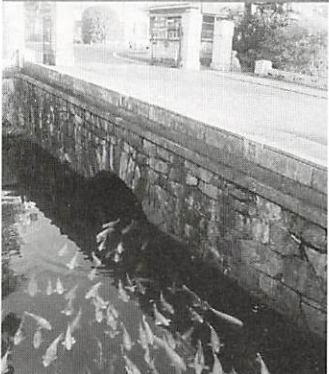
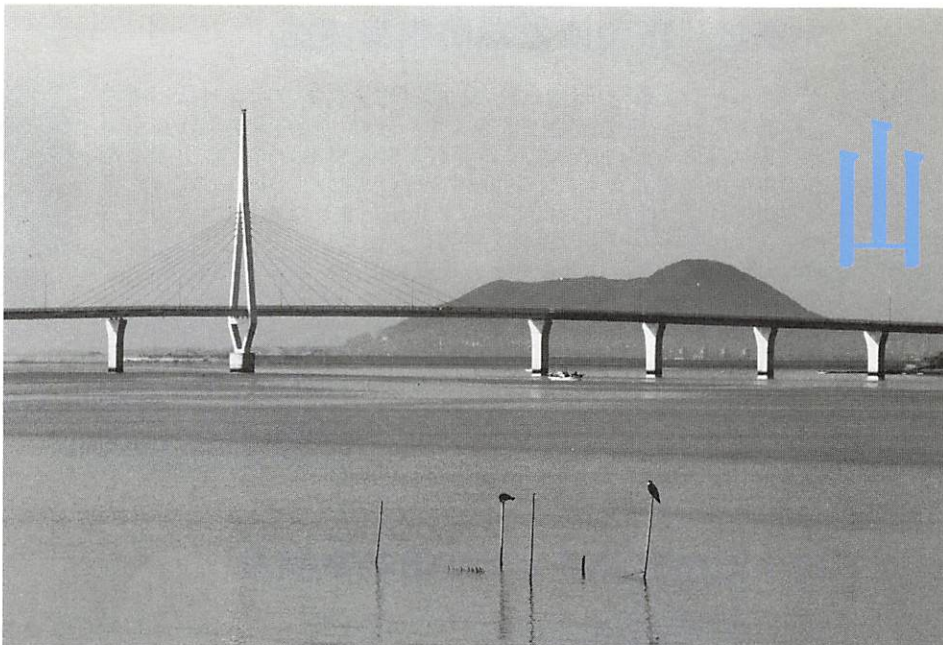
宮野小学校前の樵野川に架かる初音橋。 ガーデンブリッジ（一の坂川）

欄干に虫の舞い



宮野小学校前の樵野川に架かる初音橋。

山



ふたたびはわたらない橋の
ながいながい風

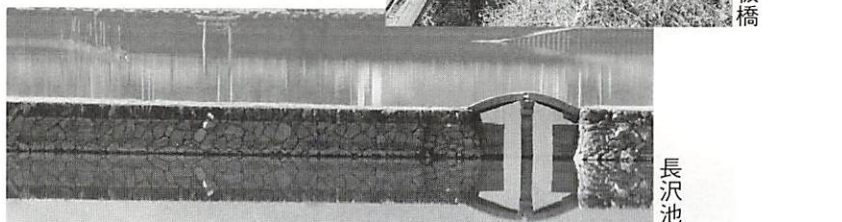
山頭火

詩人の和田健さんに紹介してもらいました。防長詩人会発行の「詩園」第四巻秋季号（昭和十六年十二月五日）に掲載されています。「昭和十四年の作ですから、湯田前町の風来居時代と思っています。旅から旅への行乞、だからこそ山頭火の二期一会への気持ちがよくわかります」

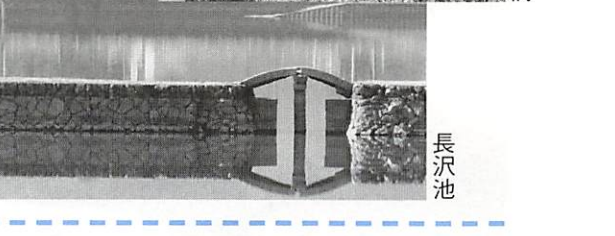
山口城跡の濠



堂ヶ原の板橋

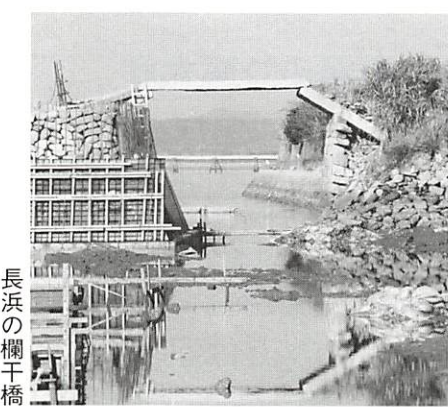


長沢池

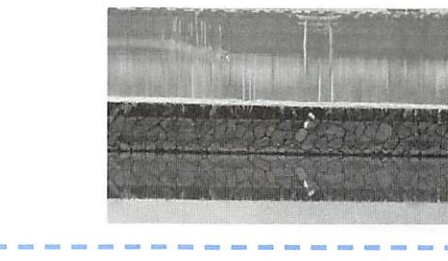


温泉情緒に一役
湯田温泉
の松田屋ホ
テル沿いの
道路にこん
な欄干が。

自然の木が欄干
吉敷龍蔵寺のチシヤの木の
橋。昔、住職が切った大木を
二本置いていたところ、芽が
出て木になり、根がつながっ
て二本の木が橋の欄干になっ
たそうです。



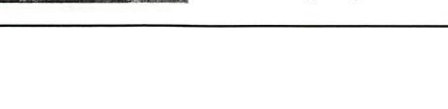
長浜の欄干橋



昭和三十三年まで「藤尾の
渡し」と呼ばれた渡し船が航
行していました。橋長一〇四
〇mは市内で最長。七一mの
主塔からケーブルを張り降ろ
した斜張橋で、山口湾に羽を
広げ、まさに飛び立とうとす
る白鷺の姿が浮かびあがりま
す。平成四年完成、「日本の名
橋百選」のひとつ。

参考文獻 『ふるさとの橋』
山口県ふるさとづくり
県民会議編

水が渡る橋



す。中央部が橋台より高くな
っているので満潮時でも橋下
を船が航行できます。

山口城跡の濠

幕末に建てられた藩庁の濠
で現在も県庁を取り巻いて昔
の姿を残しています。

写真は、大正五年に完成し
たルネッサンス様式の前県庁
舎の正門前の橋です。現在の
県庁は昭和五十九年に完成。

榎野川で平川から山口へ渡
る本格的な橋が架けられたの
は明治三年頃で、当時は大場
の橋と呼ばれていました。明
治三十四年、強固な木橋に架
け替えられ、この年が豊年で
あったのと、山口の町家から
肥料となる糞尿の運搬が便利
になることから豊年橋と名付
けられました。

堂ヶ原の板橋（仁保川・
仁保農協下郷支所前）
「支所ができた（昭和十三
年）頃に架かったと思います。

こちらから支所に行ったり、
玄宮院にお参りされる人がよ
く利用されてきました」と地
元の津野勝一さん。洪水の時
は水流に逆らわないように木
桁を流し、治まってからワイ
ヤーを手練り回収するような
橋を「流れ橋」といいます。

「大水のたびに流されますが、
ないと不便ですから」と話さ
れています。

百間橋（榎野川、嘉川・名
田島）
かつては「百間渡し」と呼

ばれる渡船場があったところ
で、川幅が百間（約一八二m）
あることに由来し、昭和二十
四年に完成しました。現在新
しい橋を建設中です。

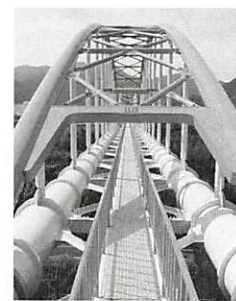
湯田大橋・小橋

両橋の間に蛭塚があります。
塚には「うつくしき蛭の群の
かがやきをこのうつし世の光
ともがな」の歌が刻まれてい
ます。昭和三十年、作者の歌
人・吉井勇夫妻を迎えて除幕
式が行われました。

昭和三十三年まで「藤尾の
渡し」と呼ばれた渡し船が航
行していました。橋長一〇四
〇mは市内で最長。七一mの
主塔からケーブルを張り降ろ
した斜張橋で、山口湾に羽を
広げ、まさに飛び立とうとす
る白鷺の姿が浮かびあがりま
す。平成四年完成、「日本の名
橋百選」のひとつ。

参考文獻 『ふるさとの橋』
山口県ふるさとづくり
県民会議編

山口・小郡地域広域水道企
業団の榎野川一号水管橋。導
水管を通して取水が入り、送
水管から浄水が送られます。



温泉情緒に一役
湯田温泉
の松田屋ホ
テル沿いの
道路にこん
な欄干が。

火事だ！市役所で消防訓練実施

「火事だ、火事だ！」と叫ぶ職員。「庁舎自衛消防隊員は、所定の行動をとれ」、非常放送が響きます。阪神・淡路大震災からちょうど2年目の1月17日、市民の貴重な財産である市庁舎を守るため、中央消防署とともに消防訓練を行いました。中心となった自衛消防隊員は、昨年11月に市長により任命された職員174人のうち100人。119番への通報の要領を確認し、初期消火や避難誘導の体制を整え、実際に消火器などを扱う練習も行いました。特に大災害の発生時には、このような自主防災組織の活動がたいへん役立ちます。



防災とボランティアの写真を展示



1月16日から20日まで市役所市民ホールで「防災とボランティアの日」「防災とボランティア週間」のパネル展が開かれました。阪神・淡路大震災をきっかけにした防災とボランティアの日（17日）と防災とボランティア週間（1月15日から21日）に合わせて市民の防災意識を高めるため昨年に続いて開いたもの。パネル写真は神戸市消防局や大阪市消防局などから提供された19点と山口市職員や婦人会員が写した10点の合わせて29点が展示されました。被災して炎上した町並みや救助作業など当時の生々しい状況が伝えられていました。



寒さなんか吹き飛ばせ 小鯖小竹馬大会

1月21日、小鯖小学校（安永千之校長）で全校児童377人が参加して恒例の竹馬大会が行われました。

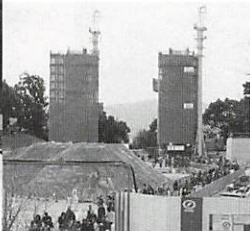
寒風が吹く中、児童たちは、それぞれが工夫して作った竹馬を持ってグラウンドに集合。家族や地域の人たちの声援を受け、縦割り班対抗のリレーやグラウンドに作られたチャレンジコースなどに元気に挑戦していました。チャレンジコースでは、ボールを蹴ったりつぶした空き缶の上を歩いたりさまざまな技が要求され、それをクリアした児童は竹馬にシールを張ってもらっていました。

閉会式で児童の代表が「はじめは竹馬にのれなかったけど、のれるようになってうれしかった」「前よりたくさんできるようになった」と感想を述べると、校長先生が「すばらしい大会でした。寒さに負けず元気に育てて欲しいです」との思いを話されました。



タイムカプセルに記念文を 山口サビエル記念聖堂定礎式

1月19日、山口サビエル記念聖堂の定礎式におよそ400人が集まり、タイムカプセルに市民の方々が記念文を収めました。「これから、いつかきっと世界が平和になりますように、と書きました」「大きくなったら何になりたいかという内容です」「火事で焼けてとても悲しかった。教会が早く出来上がってほしい、と書きました」と皆さん。観光名所でもある記念聖堂が焼失してから5年目の冬、亀山に新しい塔が建ちはじめています。



みんなでひっぱれ 二島地区綱引き大会

1月12日、二島小学校で新春恒例の二島地区綱引き大会が行われ、それぞれ集落ごとに分かれたチームが、リーグ戦形式で熱い戦いを繰り広げました。今年は男子8チーム、女子7チームが参加し、随所にチームワークの良さや、力の駆け引きのうまさなどを見せていました。

当日は肌を刺すような寒さでしたが、応援なども含めて約200人が参加。会場では「わっしょい、わっしょい」「よいしょ、よいしょ」などの大きなかけ声とともに力強く綱を引き、寒さを吹き飛ばしていました。



老人と子どものつどい 開催

「お正月は何をして遊んだの?」「おばあちゃんのところに行って、缶けりとかしました」。大殿公民館で1月11日、大殿地区老人クラブ連合会（宮川安雄会長）25人と大殿小学校6年生35人が交流。輪投げ、お手玉、合唱を楽しんだ後、高齢者の方々が作ったぜんざいを皆で食べました。この集いは今年が初めて。例年、大殿小の昼食会に呼ばれている同連合会がそのお礼と、小学校時代の思い出づくりにと、独自で招待しました。

無病息災を願って…

「今年も元気で過ごせますように…」1月12日、澄みわたる空のもと、名田島小学校前の空き地で新春恒例の「どんどこやき」が行われました。名田島地区子ども会（廣政実会長）と名田島公民館が、地区の老人クラブの協力も得て行ったもの。丑年生まれの子どもたちなどがトーチで点火すると、各家庭から持ち寄られたしめなわ飾りや「希望の春」「夢の実現」などと書かれた書き初めが勢いよく燃え上がりました。子どもたちは「わあーすごい」「あったかいね」と歓喜の声。会場では、お母さん方の手によって焼き餅やぜんざいなどもふるまわれ、子どもからお年寄りまで、みんなで無病息災を願いました。



新春に夢語り合う

1月11日はとっても「いい日」。佐山公民館で地区民100人が参加して初のパネルディスカッション形式の「佐山の夢を語る～三世代ふれあいの中で～」が行われました。

司会の佐山地区青少年協会長・西村良郎さんが「夢ってたよりないけれど、生きていくうえで大きな力になるもの」とあいさつ、続いて5人の夢語り人がそれぞれの夢を語りました。佐山小6年生の嶽野和弘くん①「大きなグラウンドが欲しい」、川西中2年生奥迫祐子さん②「地区の文化祭など昔からあるものを残しつつ新しい企画を」、若者より柳井宏幸さん③「若者が地域行事にもっと参加を。遊園地や映画館など佐山地区全体をレジャー施設に」、親より藤井良子さん④「地域・学校交流センターを」。最後におじいちゃんより久保田幹夫さん⑤は自分が亡くなったあと天国に届いた年賀状の形で「『佐山の夢を語る』が実現しましたと書いてありました」としめくり、参加者からも夢が語られました。

楽しい夢、大きな夢、それぞれの夢は違いますが、皆さん、「ふるさと佐山のよさをいつまでも守って」は共通の思いでした。



男女共同参画社会へ向けて.....
ともに創る21世紀フェア in やまぐち開催

2/28
f r i

女と男本音で語るトークショー

女性、男性、それぞれの生き方が従来と変化し多様化するなか、男女共同参画社会の実現が課題となっています。現状や今後の課題など、男女共同参画社会の実現へ向け、安藤和津さん、三池孝尚さん、久保田后子さんの3人に、女性、男性それぞれの立場から本音で語っていただきます。

入場無料 とき/2月28日（金）18：30～20：00（開場18：00） 場所/山口県教育会館



女
らしさとは？

安藤 和津 Andoh-Kazu
学習院初等科から高等科、上智大学卒業後、イギリスケンブリッジ、ヘルスクール2年留学。昭和54年奥田瑛二氏と結婚。「ピットトゥディ」コメンテーター、「スーパーモーニング」コメンテーター、「マジカル頭脳パワー!!」セミレギュラーなどクイズ番組解答者、トーク番組等出演も多数。なお「あいうえお安藤和津の主婦と生活」エッセイ「愛すること愛されること！」など著書も多数。



男
らしさとは？

三池 孝尚 Miike-Koushou
下松市花岡に生まれる。龍谷大学文学部仏教学科卒業後下松市役所に勤務。関ヶ原坊住職に就く。山口放送番組「ラジオかけ込み寺」のパーソナリティ、日本テレビ「午後は○○おもいっきりテレビ」コメンテーターとして出演中。



男女
共同参画社会とは？

久保田后子 Kubota-Kimiko
東京都出身、早稲田大学政治経済学部卒業。ドイツミュンヘン市に1年間留学。(株)ソニー勤務を経て、ドイツ語通訳・翻訳業/日本語教育に従事。平成2年11月、夫の故郷である宇部市に1ターン。山口大学大学院経済学研究所修了。現在、宇部市議会議員、宇部短期大学非常勤講師、やまぐち女性財団企画運営副委員長などとして活躍中。

【申し込み方法】

- 官製、私製ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号をご記入のうえ、2月14日（金）（当日消印有効）までに企画調整課（亀山町2-1 TEL 22-4111）へご投函下さい
- FAXでの申込も受け付けます。（FAX0839-23-7853）
- 1枚で複数名受け付けます。参加者全員の名前と代表者の氏名、住所、電話番号を明記して下さい。
- 応募者多数の場合は抽選で決めさせていただきます。本人または代表者に連絡致します。

（ハガキ表）

（ハガキ裏）

〒750-0000
山口市企画調整課
山口市亀山町二一

ともに創る21世紀フェア

お名前
住所
電話番号

あなたたちの周りには、暗黙のうちには男性の仕事、女性の仕事、と決まっていることはありませんか。また、重要な方針決定・政策決定の場、地域の活動の場などで、女性ばかりの場面、男性ばかりの場面はありませんか。そして、家庭における役割分担は？

国の男女共同参画審議会の答申である「男女共同参画ビジョン」では、男女共同参画社会を「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」と定義づけています。

「男は仕事、女は家庭」という考え方が根強く残るなか、男性も女性も、仕事、家庭、地域と広くさまざまな場へ参加し、それぞれの場での責任を担うとともに、自らの能力を高め、自立した一人の人間としてより豊かな人生を送ろうという考え方が考えられます。



ともに創る21世紀

・男女共同参画社会とは

男らしさ、

女らしさとは

・ジェンダーに敏感な視点で

わたしたちは生まれた時から、与えられる遊び道具の違い、男らしく、女らしくというしつけ、固定的な役割分担意識など、両性をそれぞれ特徴づける傾向のある環境に囲まれ、結果として男女の違いはよりはっきりしたものになっています。

このように成長の過程で無意識のうちにつくられていく男女の違いのことを、単なるからだの違いと区別して、「ジェンダー」といいます。

男女共同参画社会の実現に向けて、私たちは、男とはこういうもの、女とはこういうものとの固定的にとらえるまえに、それがジェンダーによる思い込みではないか、一度考えてみる必要があります。

日常生活をジェンダーに敏感な視点で見直してみると、新たな発見があるかもしれません。

女性問題は男性問題

女性が女性であることを理由に受ける不利益、不平等およびそれによって引き起こされるさまざまな問題のことを一般に、「女性問題」といっています。

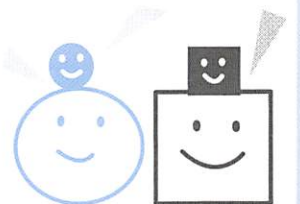
山口市では企画調整課で、男女共同参画社会の実現へ向けた取り組みを始めています。フェアの開催に加え、2月には意識調査の実施も計画しています。

市民の皆さんのご参加、ご協力をお願いします。

それに対して最近いわれるようになった「男性問題」とは、主に男性の仕事中心の生活による弊害に関するもので、ストレスによる自殺の増加、定年後の生き甲斐の喪失、妻に依存した老後、熟年離婚などが指摘されています。

どちらも「男は仕事、女は家庭」というような男性と女性に対する固定的な考え方が背景にあり、女性をめぐる問題と男性をめぐる問題とは表裏の関係にあるとの認識から、しばしば「女性問題は男性問題である」という言い方がされています。

男女共同参画社会の実現は、女性問題、男性問題それぞれの解決も促すものです。



特集 市民アンケート

「これからの市政運営について」(調査結果概要)

山口市では、平成5年に「第2次山口市行政改革大綱」を策定し、大幅な組織機構の改革を行うとともに、市民サービスの向上を目指して、年次的に改革課題の解決に取り組んでまいりました。

しかしながら、経済社会情勢は目まぐるしく変化し、地方分権推進法による国と地方のあり方や規制緩和、行政手続きの簡素化、行政情報の公開、個人情報保護、さらに高齢化社会の到来など新たな行政課題への対応が求められるようになりました。

第3次行政改革大綱（仮称）の策定

こうした新たな行政課題に対応するため、平成9年度に「第3次山口市行政改革大綱」（仮称）を策定することとしており、平成8年度には事前準備として、経営コンサルタントによる行政診断を行い、事務事業の現状分析や組織のあり方などについて調査研究を進めてまいりました。また、市政運営においては、市民の方々の意見を反映することが必要であることから、「これからの市政運営について」と題して市民アンケートを実施しました。

アンケートの方法

この市民アンケートは、平成8年9月末の住民基本台帳に登録されている20歳から75歳までの市民の方々から行政区別の人口比率及び年齢構成を考慮して3,000人を抽出するとともに、平素市行政と深く関わりのある各地区の自治会長さん16人と広報広聴モニターさん16人にもお願いして合計3,032人（対象人口比3.25%）の方々を対象に調査を行いました。調査期間は、昨年10月25日から11月5日までとし、郵送によって実施しました。

アンケート調査は全部で14項目ですが、体系的には次の6つの構成からなっています。第1は性別、年齢、職業等の基礎調査項目、第2は市役所や出張所への来庁回数、窓口などの市民サービスに関する事項、第3は地方分権に関する事項、第4は市役所の仕事と市民の役割について、第5はこれからの行政改革課題とその取り組みに関する事項、第6は行政の簡素化・合理化の観点から自由な意見を記入していただきました。

(表1) 地区別調査票送付数及び回収率

地区名	対象者数	割合 (%)	送付数	割合 (%)	回答数	割合 (%)	回収率 (%)
大 殿	6,771	7.3	224	7.4	115	7.5	51.3
白 石	6,907	7.4	229	7.6	114	7.4	49.9
湯 田	9,759	10.5	322	10.6	152	9.9	47.2
仁 保	2,704	2.9	91	3.0	45	2.9	49.6
小 鯖	3,640	3.9	121	4.0	60	3.9	49.4
大 内	13,094	14.0	432	14.2	201	13.4	46.6
宮 野	9,878	10.6	326	10.7	177	11.5	54.3
吉 敷	8,527	9.2	282	9.3	149	9.7	52.9
平 川	9,182	9.8	249	8.2	112	7.3	45.0
大 歳	7,612	8.2	252	8.3	127	8.3	50.4
陶	1,955	2.1	66	2.2	32	2.1	48.4
鑄銭司	2,407	2.6	75	2.5	42	2.7	55.6
名田島	1,223	1.3	42	1.4	25	1.6	49.3
秋穂二島	2,344	2.5	79	2.6	39	2.5	49.4
嘉 川	5,266	5.6	175	5.8	95	6.2	54.3
佐 山	1,970	2.1	67	2.2	39	2.5	58.5
不 明	—	—	—	—	9	0.6	—
合 計	93,239	100.0	3,032	100.0	1,533	100.0	50.6

(注) 対象者数は平成8年9月末の住民基本台帳登録者のうち20歳から75歳までの人数

1 回収率 50.6%

調査票送付数3,032通の内訳は男性47.6%、女性52.4%で、回答数の割合は男性が44.9%、女性が54.8%、不明が0.3%でした。

回収率は50.6%（男性47.7%、女性52.9%）

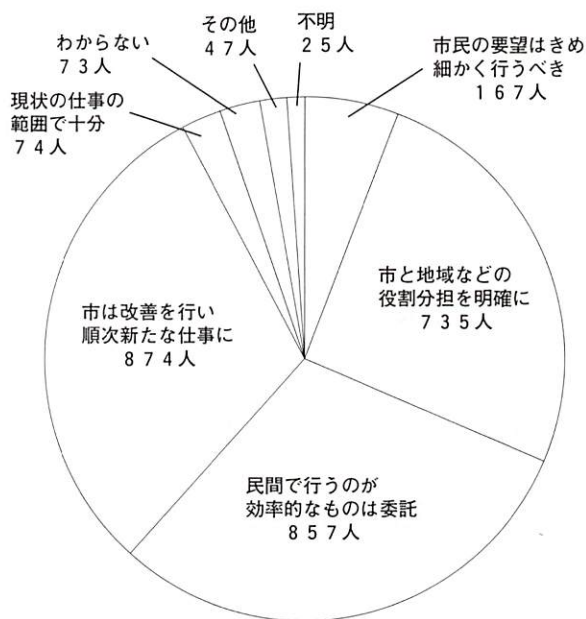
で女性の方が若干高く、地区別の回収率では佐山地区が58.5%で最も高い回収率となりました。また、年齢別では70歳以上が72.3%と最も高く、ついで60歳代、50歳代と若くなるにつれて低下しています。

(11ページの左上に続く)

また、「これから高齢化や地方分権の進展などに伴い、今以上に市役所の仕事が増加することが予想されます。市役所で行う仕事のやり方や範囲についてどのように思われますか」という質問に対しては、(図2)のような回答でした。

さらに、「これからの市民の役割についてどのように思われますか」という質問に対しての回答では、「市に要望を積極的に出していくべきである」44.7%、「地域でできることは地域で行うべきである」34.2%、「市役所には頼らず、自分のことは自分でする」8.1%、「今のままでよい」5.5%、「わからない」4.1%、「その他」1.6%となりました。

(図2) 市役所のあり方 (複数回答)



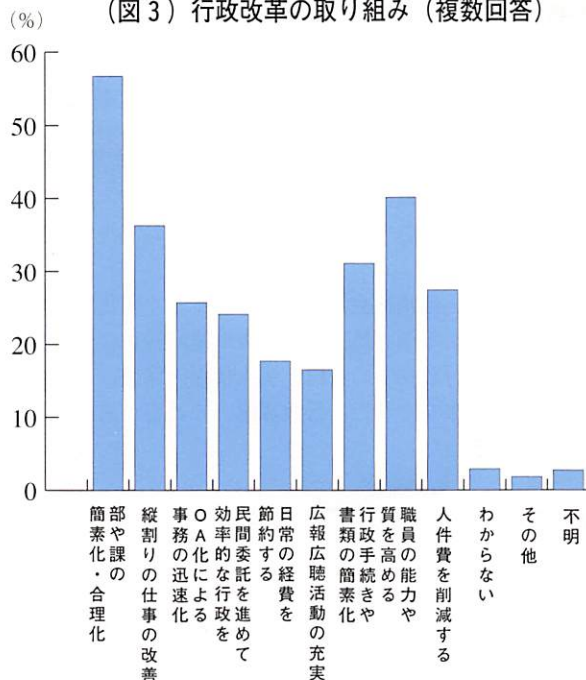
6 行政改革の進め方やまちづくりに対する市民参加

「市役所が自ら改善を進めるにあたって、どのような取り組みが特に重要だと思われますか」という質問に対し回答者は(図3)のような選択をされました。

次に、「市民の立場から、市役所の改善や行政改革を実現させるために、どのような方法が有効だと思われますか」という質問では、「市民の代表を入れた行政改革推進委員会をつくる」38.4%、「定期的に進み具合を市報等で公表する」33.6%、「監査の機能を充実させる」14.2%、「議会に進み具合を報告する」2.7%、「わからない」6.3%、「その他」2.2%という結果になりました。

そして、「市民と行政が一体となったまちづくりをさらに進めていくには、特にどのようなことに力を入れたらよいと思われますか」という質問に対しては、「市政に関するわかりやすい情報を市民に提供する」59.2%、「事業の計画段階で説明会等を実施し、市民の意見を取り入れる」47.2%、「市政懇談会や市長を囲む会を開催し、市民が直接意見を述べる機会を増やす」34.2%、「市政に対する市民の意識調査を行う」22%、「市民から市政モニターを募集して、モニターから感想や意見を聞く」19.3%、「わからない」3.2%、「現状のままでよい」2.9%、「その他」1.6%との回答でした。(複数回答)

(図3) 行政改革の取り組み (複数回答)



7 意見・提言 593件

最後に、行政の簡素化・合理化という観点から日頃感じられていることなどのご意見を記入していただきました。回答者の33.4%にあたる512人の方から593件ものご意見・ご提言がありました。その中の特徴的な意見を挙げてみますと、①政策やまちづくりに関することでは、「合併を推進し、中核都市づくりを」、「市政に関する情報提供を」、「中心商店街の活性化を」、「下水道、農業集落排水の整備促進を」など153件。②組織の改善に関することでは、「部や課の再編、統廃合を」、「出張所、公民館の統廃合を」など23件。③職員の能力や態度に関することでは、「勤務態度や対応の改善を」、「職員の資質や能力の向上を」など202件。④事務事業の改善に関することでは、「監査機能の充実を」、「各種証明書等発行のため自動交付機の設置を」、「土、日も窓口の開設を」、「民間でできるものは委託を」、「市からの情報紙の規格がバラバラである」、「事務処理は期間を設けて迅速に」など85件。⑤税や予算に関することでは、「税金の有効活用と支出の見直しを」、「計画的な予算執行を」など40件。⑥市営バスに関すること22件。⑦議会に関すること11件。⑧その他としてアンケートの取り組みに対するご意見等57件がありました。

以上、市民アンケートの概要を説明しましたが、この調査にご協力をいただきました市民の皆様にあらためて感謝申し上げます。

この貴重な御意見をふまえ、今後の行政改革大綱の策定に活用させていただき、なお一層の市政運営の向上を図ってまいります所存でございます。市民の皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、詳しい内容につきましては、「市政運営に関する市民意識調査報告書」を市役所受付及び各出張所に用意しておりますので、ご覧ください。また、この紙面や報告書に関するご意見やご質問などございましたら、総務部事務管理課(☎0839-22-4111内線2251もしくはFAX0839-32-1779)へご連絡ください。

2 本庁や出張所の来庁回数は？

アンケート調査時点で、昨年中市役所（本庁）に来庁された回数は、「1～5回」52.8%、「6～10回」8%、「11回以上」5.2%、「行ったことがない」32.9%という回答で、66%の方が来庁されています。

「行ったことがない」を性別で見ますと、男性12.2%、女性20.7%と女性の方が少し多くなっています。また、地区別では佐山71.7%、秋穂二島64%、仁保62.3%が顕著で、特に南部地域は50%以上となっています。

一方、出張所への来庁回数では「行ったことがない」を地区別で見ますと、出張所のない大殿・白石・湯田地区はほぼ90%となっています。また、大内、吉敷、宮野、大歳などの地区では50%近い方が「出張所へ行ったことがない」と回答されています。南部地区では、「本庁へ行ったことがない」との回答に反比例するように、80%近い方が出張所を利用されているとの結果が出ました。

3 窓口で不便を感じたことがありますか？

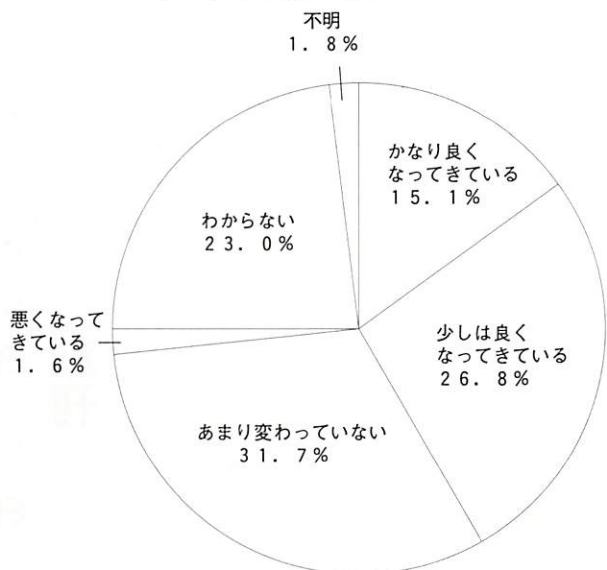
「窓口で不便を感じられたことがありますか」という質問では、「ある」39.9%、「ない」58.3%、「不明」1.8%という結果が出ました。

（表2）窓口サービスについて（複数回答）

回答項目	回答数	割合（%）
土・日・祝日が閉まっている	303	49.5
窓口の職員の説明が不十分である	178	29.1
1つの窓口で要件が済まない	157	25.7
自分の行くべき窓口がわからない	97	15.8
窓口にかけている申請書の書き方など手続きがよくわからない	91	14.9
窓口が混雑している	80	13.1
窓口の開設時間が短い	61	10.0
窓口が離れていて不便である	31	5.1
その他	87	14.2
合計	612	—

（注：複数回答のために、割合の合計は100%になりません）

（図1）市役所の印象



また、「ある」と回答された方が該当する項目を選択された結果は（表2）のようになりました。

また、「その他」では、「応対が事務的である」、「時間がかかる、待たされる」、「役所用語の意味が理解できない」、「昼休みに受け付けられない事務がある」などのご意見がありました。

次に、市政運営や市民サービス等市役所について、最近の感じをお尋ねしましたところ、（図1）のような回答でした。

4 地方分権で暮らしはどうか

「地方分権を進めることにより、山口市がどのように変わるとお考えですか」という質問では、（表3）のように「市民生活が便利になる」、「山口市の特色を活かしたまちづくりができる」、「税金をもっと有効に活用できるようになる」など約50%の方が地方分権に対する可能性に期待されているものの「まだ地方分権が不透明である」、あるいは「イメージがよくわからない」といった意見もありました。

そこで、「地方分権を進めるためには、どのようなことが必要だと思われますか」との質問には、「市民にもっと地方分権のメリット等の情報を提供すべきである」38.5%、「分権に対応できる市役所の体制づくりをすべきである」13.8%、「市民と市役所が一体となり推進すべきである」12.4%、「国、県が積極的に推進すべきである」9.8%、「市が、国や県に対して推進を促すべきである」9.3%との回答結果でした。

市民の方々は自分で判断できる情報をもっと求められており、まちづくりに関して、行政の果たすべき役割と市民の方々の役割に対する意識が高く、かなり積極的姿勢であることがわかりました。

（表3）地方分権でどう変わるか

回答項目	回答数	割合（%）
山口市の特色を活かしたまちづくりができる	419	27.3
地方分権という言葉は聞いたことがあるが内容はよく知らない	408	26.6
何も変わらないと思う	235	15.3
税金をもっと有効に活用できるようになる	168	11.0
地方分権は進展しないと思う	128	8.3
市民生活が便利になる	119	7.8
その他	30	2.0
不明	26	1.7
合計	1,533	100.0

5 市役所の仕事と市民の役割

「高齢化社会における福祉サービスの経費負担のあり方」に関する質問では、「税金などの住民の負担は現行程度にとどめ、福祉サービスを充実させるためには、他の事業を抑制すべきである」43.3%、「必要な経費は税金で負担すべきである」21.1%、「福祉サービスを受ける人がもっと負担をすべきである」19.2%、「わからない」8.7%、「その他」5%という回答結果でした。

第25回後期 山口市民文化祭

とき 2月15・16日／ところ 市民会館

2月16日（日）

■Dance部門

市民会館大ホール

開演：午後1時30分 終演：午後2時30分
入場料 1,000円（Create部門と通して）

1.加藤舞踊学院

生ひ立ちの歌／星空へむかって／Hip Hopにトライ！

2.黒田バレエスクール

ドレミの歌／春の歌／ハイゲンスのセレナーデ／花のワルツ

3.こいね会舞踊学院社交ダンス部

SHALL WE DANCE？

■Create部門

市民会館大ホール

開演：午後2時45分 終演：午後3時30分
入場料 1,000円（Dance部門と通して）

ハーフ・フィクション

《・・・そして二十一世樹》

マイム・ダンス・演劇のそれぞれをミックスし、作品を構成します。

★出演 加藤舞踊学院／演劇街／こいね会舞踊学院／ブーツメッツ（賛助出演ロックバンド）

2月15日（土）・16日（日）

■展示

市民会館

午前10時～午後5時（16日は午後4時まで）

◇陶芸・木彫展（小ホール）

野萩陶友会／釉友会（陶芸）／中村教室（木彫）

◇造形・編物・服装 手づくり展（展示ホール）

山口造形学院／山口ニットの会／クイン編物学院／メトロ文化服装専門学校
※即売コーナーもあります。

◇山口市いけ花きさらぎ展（大ホールロビー）

華歴を問わない個人参加の出品作品展

■お茶席

市民会館

午前10時～午後4時（入場は午後3時30分まで）

◇煎茶席（小ホール）

茶華道柴山流山口支部

◇抹茶席（大ホールロビー）

表千家同門会山口地区教授者会

山口市交通局職員募集

◇募集職種

自動車（バス）運転手

◇採用予定人員

若干名

◇受験資格

昭和36年4月2日から昭和50年4月1日までに生まれた人で、高等学校卒業以上の学歴と大型第2種運転免許を有する者

◇受付期間

2月3日～12日

◇試験期日

2月18日（火）

◇問い合わせ

詳しくは、山口市交通局運輸課管理担当
（大字宮野下1277-6 ☎22-2555）へ

「any」をご覧になりました。
Ars Novaとは、ラテン語で「新芸術」とか「新しい技法」を意味し、それぞれの単語の頭文字から、愛称を「any（エニー）」としました。



（財）山口市文化振興財団では、芸術や文化に関する情報を幅広く収集し、みなさまに提供するため、文化情報誌「ars nova yamaguchi」（アルス・ノヴァ・やまぐち）を発行しました。

（財）山口市文化振興財団
☎ 3310505
問い合わせ
ご利用ください。ぜひご利用ください。

「ars nova yamaguchi」創刊

募集コーナー

科学教室

「親子で野鳥を見る会」

- 日時 2月16日(日)午後1時～3時(雨天中止・小雨決行)
- 場所 矢原河川公園
- 指導者 日本野鳥の会山口県支部 会員 安達利之先生ほか3人
- 対象 市内の小学生以上とその保護者
- 募集人員 30組
- 持参品 防寒具、筆記用具、あれば図鑑・双眼鏡
- 申し込み 2月4日～14日の月曜日を除く午前9時～午後5時の間に、市児童文化センター(湯田温泉五丁目2-13 ☎22-4285)へ
- ※雨天の場合は、市児童文化センターで講義とビデオによる学習を行います。



第20回市民インディアカ大会

- 期日 2月23日(日)午前9時受付、午前9時15分開会
- 場所 山口県体育館(中園町7-1)
- 参加資格 市内に在住または勤務している人
- 種目 男子の部、女子の部、混合の部(女性2名以上)
- 試合方法 ブロック別予選リーグを行い、上位2チームにより決勝トーナメント
- 参加料 1チーム500円(当日徴収)
- 申し込み 所定の申込書で、2月15日(必着)までに、山口市インディアカ協会事務局(藤本文江/中園町3-36-408 ☎20-4338)へ
- ※2月17日(月)午後7時30分から、白石公民館にて代表者会議を行います。

山口の毛利遺跡めぐり

- 期日 2月23日(日)
- 行程 湯田温泉(午前9時30分出发)～市民会館小ホール前～市歴史民俗資料館～藩庁門～洞春寺～毛利香山墓所～勅撰銅碑～露山堂～瑠璃光寺～五重塔～豊栄神社～野田神社～雪舟庭(常栄寺)～龍福寺～吉敷玄濟寺～湯田温泉～市民会館前(午後3時帰着予定)
- 募集人員 80人
- 参加料 大人3300円、子ども・身障者3000円(食事・入館料など含む)
- 申し込み 2月4日(火)から、山口市交通局(第二種旅行業知事登録第2-44号 ☎22-2555)へ

福祉センター人形クラブ

- 日時 毎月第1・3水曜日、午前10時～午後3時
毎月第2・4月曜日、午前10時～正午
- 場所 市福祉センター
- 対象 60歳以上の方
- 指導者 松永節子先生
- 会費 2,000円
- 申し込み 市福祉センター(下郷小路254 ☎22-7121)へ

冬期市民ハンドボール大会

- 期日 2月11日(火・祝日)
- 時間 午前9時開会、午前9時30分競技開始
- 場所 山口県スポーツ文化センター
- 参加資格 市内に在住または通勤・通学している人
- 種別 当日決定
- 試合方法 トーナメント方式
- 申し込み 2月7日までに、山口市ハンドボール協会事務局・山崎慎二(山口高等学校内 ☎22-8511)へ

ガールスカウト団員募集

- 募集団 第4団(大殿・白石・大内・宮野)・第33団(湯田・吉敷・平川・大歳・南部地区)
- 資格 小学1年生～高校3年生
- 申し込み 第4団:小沢登米子(滝町2-5 ☎22-0593)・第33団:山口富美子(駅通り二丁目10-17 ☎22-2336)へ

福祉センター民踊クラブ

- 日時 毎週金曜日、午後1時～3時
- 場所 市福祉センター
- 対象 60歳以上の方
- 指導者 林流こいね会師範 林京枝先生
- 会費 月額800円
- 申し込み 市福祉センター(下郷小路254 ☎22-7121)へ

ワープロ教室

【火曜日コース】

- ◆日時 2月25日～3月25日の毎週火曜日、午前9時～正午
- ◆使用機種 キヤノン キヤノワードα100
- ◆申込締切 2月18日(火)

【土曜日コース】

- ◆日時 3月1日～29日の毎週土曜日、午後1時30分～4時30分
- ◆使用機種 日立ワードバルTF250
- ◆申込締切 2月22日(土)
- 場所 山口市働く婦人の家
- 募集人員 各コース10人(多数の場合は抽選)
- テキスト代 2,575円
- 申し込み 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・職業の有無・コース名を記入し、山口市働く婦人の家(湯田温泉五丁目1-1 ☎21-1929)へ
- ※希望者には託児を行います。

編集後記

▽経済活動の発展とともにごみの量が年々増加し、この量を減らすための方策として再資源化が強く求められています。▽このたび、缶、びんの再資源化の機能だけでなく、リサイクル、ごみ、環境問題等に関して、学びリサイクルが実践できる施設として「山口市リサイクルプラザ」が完成しました。この施設を、多くの市民が気軽に利用していただき、環境問題やリサイクルについて認識を更に深めていただき、明るい地域環境づくりに役立てていただきたいと思います。

日時	内容	講師・指導助言者など
2/13(木) 10:00~12:00 湯田公民館	講義 「生涯学習とボランティア活動」	山口大学教育学部 助教授 川間健之介氏
2/20(木) 10:00~12:00 湯田公民館	講演 「地域づくりとボランティア」	山形県やまのばの会 総領 武田詩子氏
2/20(木) 13:00~15:30 児童図書館	実習 【図書分類・読み聞かせ】	市児童図書館 司書 田中雅美氏
2/26(水) 10:30~12:00 大殿公民館	先輩に学ぶ 【託児ボランティア】	託児ボランティア員 吉次由起子氏
2/26(水) 13:00~15:30 大殿公民館	事例研究 話し合い	嘉川読書クラブ代表 坊内公子氏 生涯学習ボランティア相談員 西山香代子氏

- 受講料 無料
- 募集人員 三十人(定員になりしだい締め切り)
- 申し込み 二月十二日まで
- ※全日程参加された方には、修了証をお渡しします。

ボランティア基礎講座

に、市教育委員会生涯学習課(☎22-4111)へ

★固定資産税4期・国民健康保険料9期の納期限は2月28日(金)です。お忘れなくお納めください。

★市税・国民健康保険料の納付については、確実に便利な口座振替をご利用ください。

健康コーナー

1歳6か月児健康診査

- 期日 2月27日(木)・28日(金)
- 受付時間 午後1時～2時
- 場所 市保健センター(糸米二丁目6-6)
- 対象 平成7年8月生まれの幼児
- 問い合わせ 市保健センター(健康増進課 ☎21-2666)へ

3歳児健康診査

- 期日 2月19日(水)・26日(水)
- 受付時間 午後1時～1時45分
- 場所 山口環境保健所(葵二丁目5-69)
- 対象 平成6年2月生まれの幼児と過去未受診者
- 問い合わせ 山口環境保健所保健指導班(☎22-5111)へ

パーキンソン病患者 家族交流会(翠陽会)

- 日時 2月12日(水)午前9時30分～正午
- 場所 山口環境保健所(葵二丁目5-69)
- 対象 パーキンソン病患者およびその家族
- 申し込み 山口環境保健所保健指導班(☎22-5111)へ(予約制)

心の健康相談

- 期日 一般精神保健相談…2月6日(木)・老人精神保健相談…2月13日(木)
- 受付時間 午後1時～2時
- 場所 山口環境保健所(葵二丁目5-69)
- 申し込み 山口環境保健所精神保健班(☎22-5111)へ(予約制)

山口地区

痴呆性老人を支える家族の会

- 日時 2月4日(火)午後1時30分～3時30分
- 場所 山口環境保健所(葵二丁目5-69)
- 対象 痴呆性老人を介護している方など
- 問い合わせ 山口環境保健所精神保健班(☎22-5111)へ

ツベルクリン反応検査 ・BCG接種

- 期日
・ツベルクリン反応検査…3月11日(火)
・BCG…3月13日(木)
- 受付時間 午後1時30分～2時30分
- 場所 市保健センター(糸米二丁目6-6)
- 対象地区 大殿・白石・湯田・仁保・小鯖・大内・宮野・吉敷・平川・大歳
- 対象者 生後3か月～4歳未満の者で、BCG接種未接種者、再検査者
- 料金 無料
※母子健康手帳と体温計を持参してください。
- 申し込み 市保健センター(健康増進課 ☎21-2666)へ
※必ず事前に電話で申し込んでください。

催し物とお知らせ

公共施設用地等の 先買いについて

都市計画で決定された施設(道路・公園など)の区域内などにある、一定面積以上の土地を第三者に譲渡しようとする場合には、県知事に届け出なければなりません。

また、都市計画区域内などにある、一定面積以上の土地について、地方公共団体等による買い取りを希望する場合は、県知事に申し出ることができます。

この申し出・届け出を受けて、地方公共団体等と協議が成立すれば、土地所有者の譲渡所得には1,500万円の特別控除が認められます。

- 対象となる土地
- 【届け出】 都市計画決定された施設などの区域内の100㎡以上の土地
- 【申し出】 都市計画区域内の100㎡以上の土地
- 問い合わせ 詳しくは市建築指導課(☎22-4111)へ

小学校・中学校に 入学されるみなさんへ

～入学通知書は届きましたか～

- ★小学校へ入学される人
平成2年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた人、または日本国籍を有しない人で保護者から申し出のあった人
- ★中学校へ入学される人
昭和59年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた人、または日本国籍を有しない人で保護者から申し出のあった人
- ◆該当者で入学通知書が届いていない人がいましたら、市教育委員会学校教育課(☎22-4111)へお問い合わせください。

よくわかる市民法律セミナー

- 日時 2月14日(金)午後5時30分～7時
- 場所 山口県弁護士会館2階(黄金町2-15)
- テーマ 欠陥住宅・建築紛争セミナー
- 講師 作良昭夫弁護士
- 料金 無料
- 問い合わせ 山口県弁護士会(☎22-0087)へ

確定申告は正しくお早めに

所得税の確定申告は、2月16日から3月17日までです。税務署は期限間近になると大変込み合います。事業所を営んでいる人、サラリーマンでも確定申告をしなければならぬ人は、所得金額や税額を正しく計算し、早めに申告しましょう。

中小企業勤労者共済制度に 加入しませんか?

型	種	給(1人当り)	最高給付金額
1	型	450円	200万円
2	型	900円	400万円
3	型	1,500円	1,000万円
高齢者型		450円	100万円
ファミリー型		500円	200万円

- 問い合わせ 市勤労福祉共済会(市商工観光課内 ☎22-4111)へ

2月の休日当番医	外科系		内科系		外科系		内科系			
	診療時間	担当	診療時間	担当	診療時間	担当	診療時間	担当	診療時間	担当
2	林 外科	山口22-0139	野瀬内科小児科	山口27-2655	小川整形外科	小郡72-2887	小橋クリニック	小郡73-5000	小野 医院	秋穂84-2353
9	柴田病院	山口27-2800	奥田胃腸科内科	山口25-2188	同仁病院	宇部65-2130	山岸内科	小郡72-2788	同仁病院	宇部65-2130
11	小田整形外科	山口24-8972	青山消化器内科	山口23-1577	三隅外科	小郡72-1003	田辺内科	小郡73-3778	利重クリニック	山口89-2515
16	奥山整形外科	山口23-0022	田中内科	山口27-5020	小林外科	小郡73-1515	はまもと小児クリニック	小郡73-0616	たむら医院	山口89-4480
23	内藤クリニック	山口20-5588	藤原内科	山口23-5517	吉武医院	秋穂84-2330	よしかね内科	小郡73-8181	共立病院	宇部65-2200

診療時間：午前8時30分～午後5時30分

診療時間：午前9時～午後6時

■休日夜間急病診療所(糸米二丁目6-6 ☎25-2266) <内科・小児科> 毎日午後7時～10時 <外科> 土曜・日曜・祝日、年末年始、8月14日～16日午後7時～10時 <歯科> 日曜・祝日、年末年始、8月14日～16日午前9時～午後1時 ■休日当番医テレホンサービス ☎23-5000

吉南医師会 土曜夜間在宅当番医 診療時間19時～22時	2月1日		2月8日		2月15日		2月22日	
	内科系	上郷医院 <th>小郡72-0916 <th>山岸内科 <th>小郡72-2788 <th>はまもと小児クリニック <th>小郡73-0616 <th>利重クリニック <th>山口89-2515 </th></th></th></th></th></th></th>	小郡72-0916 <th>山岸内科 <th>小郡72-2788 <th>はまもと小児クリニック <th>小郡73-0616 <th>利重クリニック <th>山口89-2515 </th></th></th></th></th></th>	山岸内科 <th>小郡72-2788 <th>はまもと小児クリニック <th>小郡73-0616 <th>利重クリニック <th>山口89-2515 </th></th></th></th></th>	小郡72-2788 <th>はまもと小児クリニック <th>小郡73-0616 <th>利重クリニック <th>山口89-2515 </th></th></th></th>	はまもと小児クリニック <th>小郡73-0616 <th>利重クリニック <th>山口89-2515 </th></th></th>	小郡73-0616 <th>利重クリニック <th>山口89-2515 </th></th>	利重クリニック <th>山口89-2515 </th>
外科系	吉武医院	秋穂84-2330	相川内科	山口86-2177	村田外科	小郡72-7100	嘉村外科	小郡72-2513

■市外局番 山口：0839 小郡：0839 宇部：0836 秋穂：0839

■平日夜間の在宅当番医の問い合わせは ☎22-1470(消防本部)へ